

実 施 記 録

- 1 日 時 平成30年6月23日(土) 13:30~14:20
- 2 年 組 広島大学附属東雲中学校 第1学年24名(男子12名, 女子12名)
- 3 授業者 奥田 努 先生(福山市立加茂中学校)
- 4 単元名 文字式
- 5 本時の目標 数の石垣を通して, 文字の必要性を味わうことができる。



学習過程	学習活動	指導上の留意点(◆評価)
導 入 (10分)	数の石垣の仕組みを知る。 	[条 件] ・ 3段の石垣とする。 ・ 2・3段目は下の段をたすこととする。 ・ 1段目は左下の数の2倍, 3倍とする。 ・ 例題を2つ確認する。
展 開 (30分)	「左下の数は何でしょうか？」 (予想される活動) ・ 適当に数をあてはめる。 ・ 1, 2, 3 と順にあてはめる。 ・ 小数や分数を使って考える。 ・ 5の倍数をあてはめる。 ・ 左下と頂点の数が8倍であることに気づく。 発表する。 (左下の数)×8=(頂点の数)になる理由を考える。 	・ 生徒の気づきを全体につぶやく。 ・ 成功, 失敗の具体例をおさえる。 ・ (左下の数)と(頂点の数)を表にまとめる。 ◆□や○, xなどを使って理由を説明しようとしている。【数学的な見方や考え方】 ・ 数名の生徒に発表させる。
探求・ふり返り (10分)	「条件①~③を変更しても10の倍数になる？」 (条件③を変更した場合; 予想される活動) ・ 左下の数と(?)に適当にあてはめる。 ・ 左下の数を決め, (?)にいろいろあてはめる。 ・ (?)の数を決め, 左下の数を考える。 ・ 左下の数を決め, 逆算で(?)を考えている。 ・ 記号や文字を使っている。 発表する。 頂点の数が必ず10の倍数になることを確認する。 	・ 必ず10の倍数になる場合があるか投げかける。 ・ 生徒の気づきを全体につぶやく。 ・ 成功, 失敗の具体例をおさえる。 ・ いくつかのパターンを紹介する。 ・ ?が3など, 一つの例で確認する。

- [協議会] (14:30~16:45) 1. はじめに(広島都市学園大学 佐伯陽) 2. 授業者から
 3. 授業協議 4. 授業のまとめ(廿日市市教育委員会指導主事 橋本浩敬)
 5. 授業づくり研修~単元を貫く教材を作ろう→中学校計算領域を全学年全単元持ち帰る
 6. 研修のまとめ(廿日市市教育委員会学校教育課長 岡寺裕史)
 7. おわりに(武庫川女子大学 神原一之) / 諸連絡(東雲中学校 天野秀樹)

- [参加者(敬称略) 34名] 佐伯 陽(広島都市学園大学) 神原 一之(武庫川女子大学)
 岡寺 裕史(廿日市市教育委員会学校教育課長) 橋本 浩敬(廿日市市教育委員会指導主事)
 伊田 典子(福山市立加茂中学校長) 田中 祐二(江田島市立大柿中学校長)
 吉田 修久(広島市教育委員会指導主事) 家本 一郎(広島市立安西中学校長)
 原田 康宏(広島市立安佐中学校主幹) 田頭 かおり(広島市立観音中学校指導教諭)
 井上(附属中・高) 甲斐(附属福山中・高) 森脇(附属福山中・高) 野田(附属福山中・高)
 奥田(福山市立加茂中) 三次(三原市立幸崎中) 田原(三原市立第四中) 谷本(福山市立広瀬中)
 橋本(江田島市立江田島中) 盛本(東広島市立磯松中) 平本(呉市立警固屋中) 松井(呉市立横路中)
 下正(呉市立東畑中) 湯谷(神石高原町立三和中) 石井(安芸太田町立筒賀中) 馬場(広島市立瀬野川中)
 牧野(広島市立庚午中) 亀井(広島市立吉島小) 渡邊(広島市立庚午中) ほか 教育関係者・本校教員